

8月30日(日)12:30～ くにびきメッセ 第4会場(多目的ホール)

ミニレクチャー付常型企业展示

装いと自立-当事者発・排泄ケア下着が リハビリ現場に問いかけるもの

担当者 新藤 杏菜

(株式会社 LeAILE 代表取締役)

「仕方なく着る」ではなく「着たいから選べる」を当たり前にしたい。全身性エリテマトーデス(systemic lupus erythematosus, SLE)と横断性脊髄炎により下半身麻痺と排泄障害を経験した代表が立ち上げた株式会社 LeAILE は、排泄ケア下着「ケアエムショーツ」を2026年6月に発売した。本講演では、神経領域の患者が抱える「下着を選べない」という見えない壁を当事者の言葉で提示し、装いの選択肢が外出意欲・自己効力感・社会参加へとつながる循環について論じる。モニター調査(n=15)で「外出しようと思える」との声があり、装いが日常生活活動(activities of daily living, ADL)の先にある参加領域に影響を与える可能性が示された。装いと自立の関係を、理学療法士の皆様とともに問い直したい。

セラピストドットコム / コメキャリ

担当者 福谷直人

(株式会社バックテック 代表取締役 CEO)

理学療法士の臨床業務において、エビデンスに基づいた情報収集や臨床推論、そしてスライド作成は不可欠でありながら、多くの時間と労力を要します。

セラピストドットコムは、AIを活用したエビデンス検索・臨床推論支援・スライド生成機能を備えた、理学療法士のための無料プラットフォームです。最新の研究知見を短時間で把握し、説得力ある説明・資料作成を実現します。

本展示では、実際の操作デモを交えながら、臨床・研修・勉強会での具体的な活用方法をご紹介します。10分のミニレクチャーでは「AIを使った臨床推論」をテーマに、仮説生成から評価・治療計画立案までAIを活かすノウハウを、明日からすぐに使える形でお届けします。

AIツールに興味はあるけれど、どう臨床に活かせばよいかわからない方にも、わかりやすくお伝えします。ぜひブースにお立ち寄りください。

呼吸サルコペニアの最新知見と臨床

(株式会社エントリージャパン)

講師 石光 雄太

(独立行政法人国立病院機構 関門医療センターリハビリテーション科)

呼吸筋トレーニング器具「パワーブリーズ」を展示しています。実際に機器に触れていただき、呼吸筋トレーニング、吸気筋・呼気筋の測定体験ができます。呼吸サルコペニアの診断にも役立つ機器もご紹介しています。

* エコー、筋力測定のハンズオンは 30 日 9 時半～11 時に展示ブースで可能。

Brain-Machine Interface (BMI) 技術を活用した

ニューロリハビリテーション医療機器のご紹介

担当者 鈴木 良

(株式会社 LIFESCAPES セールス・マーケティング部)

株式会社 LIFESCAPES は、Brain-Machine Interface (BMI) 技術を活用したニューロリハビリテーション医療機器の開発・製造・販売を行っております。

私たちは、BMI 技術によって脳の「可塑性」を引き出し、麻痺の改善をサポートすることで、「使えない手」を「使える手」に変えていける社会の実現を目指しております。

2024 年に医療機器として薬事認証を取得した「LIFESCAPES 医療用 BMI 手指タイプ」は、現在は複数の医療機関および保険外リハビリテーション施設に導入いただいております。

今回のミニレクチャーでは、最新の BMI トピックスをはじめ、BMI の原理、臨床的有効性、実際の介入事例、さらに関連するエビデンスについてご紹介いたします。

また、展示ブースではデモンストレーション用の機器を展示しております。

ぜひこの機会に実際にお手に取ってください。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。